

主題名：大切な命 D(18) 生命の尊さ
資料名：走れ江ノ電 光の中へ(東京書籍)

男子19名 女子19名 計38名

主題について

指導者 T1 大西 幸子

T2 宇多 弘典

ねらいとする価値

本学習は、D- (18)「生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること」という内容項目である。生命は、たった一つであり、他の何のものにも代え難いかけがえのないものである。児童は10才という節目に立っており、現実性をもって死を理解できるこの時期に、生命の尊さについて深く考えさせたい。ここでは、生命は自分一人のものではなく多くの人々の支えによって守り、育まれている尊いものであることを感じ取り、与えられた生命を大切にしようとする心情を育むことをねらいとする。

児童の実態

- ① 児童は9月に「生命の尊さ」の内容項目で、生きることの幸せについて学習した。ここで扱った資料は、主人公が病気で学校を1ヶ月近く休んだことで、何気ないことにも小さな幸せを感じるという内容で、比較的児童に身近で共感しやすいもので生命の尊さを感じさせた。
- ② 「命は大切なもの」「生命はひとつしかない」と知っていても、うまくいかぬことがあれば、「死ぬ」「死にたい」という言葉を簡単に口に出してしまう児童もいる。生命の尊さについて頭で分かっている、本当の意味で命の大切さを感じている児童は少ない。
- ③ 道徳の時間では、発表する児童に偏りはあるが、比較的いろいろな児童が自由に自分の考えを発言できている。自分の考えと友達のことを比較しながら聞いたり発言したりする児童も少しずつではあるが増えてきた。

教材について

本教材は、生まれつきお母さんと同じ心臓病をもっていて、残り少ない期間しか生きられないとも君に、周りの人たちが最後にも君の願いをかなえさせてあげようとしたという実話である。とも君が多くの人たちに支えられながら精一杯生きたことや、とも君に関わる周りの人の思いを考慮することで、生命の尊さを深く考えられる教材である。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○ 児童が実感を伴う納得解を得、実生活に生かすことができる道徳学習プログラムの作成

生命を尊重する気持ちを深めさせるためには、生命は自己のみならず、身の周りの多くの人々にとってかけがえのないものであり、多くの人に支えられて育まれていることに気付かせることが大切だと考える。そこで、児童自らの気付きを引き出すために、道徳学習プログラムを作成し、次のような工夫をする。

事前で総合的な学習の時間において、生まれてから今日までの自分について家族取材する活動を設定する。自分を見つめ直したり、新しい自分を見つけたりする中で、自分は多くの人に大切にされ、今の自分があるのは多くの人の支えがあるからであると実感を伴って気付かせたい。

また、道徳の学習の時間であたためた心を生かす場として、二分の一成人式を設定した。これまで支えてくださった身の周りの人に感謝の思いを伝えたり、これからの人生をどのように生きていきたいかを表現させたりすることで、かけがえのない生命を大切にし、前向きに精一杯生きていこうとする態度を育てたい。

○ 展開の工夫

本時の学習が「資料の人物のこと」で終わらず、自分のことを見つめられるように、展開後半に家族からの手紙を読む活動を入れる。手紙を読んで、「生きていることだけで素晴らしい」「自分の存在自体が周りの人の喜びであり、幸せ」と児童が自分の存在意義を感じられるように、時間を十分とする。

○ 発問の工夫

本授業は、【B分析的な発問】と、補助発問での【D批判的な発問】を計画している。とも君に対するお父さんや周りの人たちの思いに気付かせるために、【B分析的な発問】を取り入れている。また、補助発問に【D批判的な発問】を入れることで、生命は自分だけのものではなく、周りの人にとってもかけがえのない大切なものであるという思いを深めさせたい。

本時の学習

(1) 本時の目標

「とも君は、とも君のままがいい。」と言ったお父さんの気持ちを考えることを通して、生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □発問の意図 *評価
気 付 く	1 「命」という言葉からどんなことを思 か事前に書かせていたものを紹介し、児童 がもつ生命観を確認する。 ・大切なもの。 ・一つしかない。 ・生き物すべてにある。	◇ 「命」に対する児童の思いを確認するこ とで、命の大切さについて考えることへの 動機付けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">命の大切さについて考えよう</div>
と ら え る	2 資料「走れ江ノ電 光の中へ」の話を 見て、話し合う。 ○ とも君の周りの人たちが、とも君の夢 をかなえようと努力したのはどんな思 いからでしょうか。 【B分析的な発問】 ・最後に夢をかなえてあげたい。 ・とも君に、夢や希望を持ち続けてほしい。 ・病気と闘っているとも君の喜ぶ顔がみた い。	◇ 教材の挿絵をパワーポイントで映しな がら、朗読CDで聞くことで、教材の世 界に浸りやすくする。 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□発問の意図</p> <p>【B分析的な発問】により、とも君の周 りの人たちが、とも君の夢をかなえよう と努力した理由を考えさせる。このこと により、とも君は周りの人に大切に思わ れていること、周りの人に支えられてい ることに気付かせたい。</p> </div>
深 め る	● お父さんは、どんな思いで「とも君は、 とも君のままがいい。」と言ったのでし ょうか。 【B分析的な発問】 ・とも君がいるだけでうれしいんだよ。 ・よくここまで頑張ってきてくれた。生 きているだけで尊いことなんだよ。 ・とも君に代わる人はいない。とも君の 命は一つだけなんだ。	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□発問の意図</p> <p>「とも君は、とも君のままがいい。」と 言ったお父さんの気持ちを考えさせるこ とにより、とも君の存在そのものが尊 いと感じているお父さんの気持ちに気 付けさせ、生命がかけがえのないもの であるという思いにつなげたい。</p> </div> ◇ ワークシートに考えを記述させるこ とで、自分の考えをもちにくい児童が じっくり考えを整理できるようにする。

	<p>補助発問 とも君は、「ぼくは助けてもらえばかりで、なんにもしてあげられない。」と言っていたけれど、みなさんはどう思いますか。</p> <p>【D批判的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人はとも君から勇気や元気をもらっていたと思う。 ・とも君がいることがみんなの喜びだったと思う。 	<p>□発問の意図</p> <p>補助発問で【D批判的な発問】を投げかけることで、生命について立ち止まって深く考えさせたい。どんな生命も存在意義があり、存在そのものが他の人の支えになっていたり、力を与えるものになっていたりする。そのことに気付かせることで、生命はかけがえのない尊いものであるという思いを深めさせたい。</p>
見 つ め る	<p>3 おうちの人からの手紙を読む。</p> <p>○ おうちの人からの手紙を読んで、気付いたことや思ったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きているそのこと自体が素敵なことなんだ。 ・自分もいろんな人から支えられて生きているんだ。 ・自分も親に大切にされていることが分かってうれしい。 	<p>□家庭・地域と一体となった体験活動を含む「道徳学習プログラム」との関連</p> <p>事前に保護者に手紙を書いてもらい、それを読むことで、自分もとも君のように周りの人に支えられていることや、大切に思われていることに気づき、自分の命もかけがえのない大切なものであることを実感させたい。</p>
あ た た め る	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の学習や友達の考え、家族からの手紙から、命の大切さについて考えたことや気付いたことを道徳学習シートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の命は、家族やいろいろな人に支えられ、その人たちの思いが込められている。 ・どんな命も必要のないものなんてない。 ・命は、あるだけで素敵で幸せなこと。 ・この命を大切に、精一杯生きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする思いをもてたか。(ワークシート、発言) ◇ 道徳学習シートにふりかえりを記述させることで、事前に児童が書いた生命観と比較しながら、児童の考えの変容や生命観の深まりを見とれるようにする。

(3) 板書計画

走れ江ノ電 光の中へ

命の大切さについて考えよう

みんなが思う「命」

- ・一つしかない
- ・生き物すべてにある
- ・大切なもの

とも君のゆめを

かなえよう

- ・最後に夢をかなえてあげたい。
- ・ゆめをもちつづけてほしい。
- ・とも君のよろこぶ顔が見たい。

とも君は、
とも君のままがいい。

- ・とも君がいるだけでうれしい。
- ・生きているだけで素晴らしいことなんだよ。
- ・とも君に代わる人はいない。
- ・とも君の命は一つだけなんだ。
- ・みんなとも君から勇気や元気をもらっていた。
- ・とも君がいることがみんなの喜び。

〈家族からの手紙を読んで〉

- ・生きているそのこと自体が素敵なことなんだ。
- ・自分もいろんな人から支えられて生きているんだ。
- ・自分も親に大切にされていることが分かってうれしい。

命

- ・家族やいろいろな人に支えられ、その人たちの思いが込められている。
- ・必要のない命なんてない。
- ・命あるだけで素敵で幸せなこと。
- ・この命を大切に、精一杯生きたい。

二千百グラムのみじゆくじ

お父さんとお母さんは手を取り合ってよろこんだ。

お母さんと同じしんぞうの病気

病気が重くなる
↓三ヶ月もたない

さし先生

江ノ電の
会社の人

とも君

お父さん

しせつの友達

ボランティアの人

